



2023年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年4月24日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ッ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

四半期報告書提出予定日 2023年4月25日

配当支払開始予定日 2023年5月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の業績(2022年9月21日～2023年3月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|-----|------|-----|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年9月期第2四半期 | 47,022 | 0.6 | 628 | 6.7 | 789 | 7.3 | 858 | 42.4 |
| 2022年9月期第2四半期 | 46,737 | | 674 | 4.8 | 735 | 0.5 | 603 | 21.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期第2四半期 | 108.78 | |
| 2022年9月期第2四半期 | 75.22 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | % |
| 2023年9月期第2四半期 | 40,077 | | 16,402 | | 40.9 | |
| 2022年9月期 | 40,292 | | 15,813 | | 39.2 | |

(参考)自己資本 2023年9月期第2四半期 16,402百万円 2022年9月期 15,813百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2022年9月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期 | | 5.00 | | 17.00 | 22.00 |
| 2023年9月期(予想) | | | | 17.00 | 22.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想(2022年9月21日～2023年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 96,000 | 0.7 | 1,100 | 24.1 | 1,180 | 23.0 | 1,000 | 208.0 | 127.89 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年9月期2Q | 8,090,000 株 | 2022年9月期 | 8,090,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年9月期2Q | 317,580 株 | 2022年9月期 | 110,280 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年9月期2Q | 7,894,804 株 | 2022年9月期2Q | 8,017,908 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) キャッシュ・フローの状況 | 2 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果により、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の両立が進むなか、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格の高騰など企業を取り巻く環境は一層厳しさを増しました。小売業界におきましては、急激な円安、原材料価格高騰による物価高の影響を受け、個人所得の伸び悩みもあって、生活防衛意識が一層強まり、将来への不安からくる節約志向が根強く、先行きは尚一層不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、収益力の強化を最重要課題とし、下記の施策に積極的に取り組んでおります。

a. 改装の実施

既存店活性化により客数・売上増を図るため、ワクワク感が感じられる売場を目指し、改装を実施いたします。

b. P B 商品開発強化

当社にしかない価値ある P B 商品を開発し、目的来店性・粗利率アップを図ります。

c. R-9 (R=Revolution 人件費9億円削減)

人口減による人手不足・労働単価上昇への対応として機械化等を推進し業務の合理化を図ります。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高が47,022百万円(前年同四半期比0.6%増)、売上総利益は10,530百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。一方、営業利益は628百万円(前年同四半期比6.7%減)、経常利益は789百万円(前年同四半期比7.3%増)及び四半期純利益は858百万円(前年同四半期比42.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ215百万円減少し、40,077百万円となりました。これは主に土地が1,926百万円増加した一方、現金及び預金が3,150百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ804百万円減少し、23,674百万円となりました。これは主に買掛金が349百万円、長期借入金が443百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ588百万円増加し、16,402百万円となりました。これは主に四半期純利益が858百万円となり、剰余金の配当が135百万円となったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ3,150百万円減少し、3,049百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は936百万円(前年同四半期は707百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1,126百万円、減価償却費757百万円があった一方、売上債権の増加額1,179百万円、棚卸資産の増加額179百万円、仕入債務の減少額481百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,127百万円(前年同四半期は1,602百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出962百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,086百万円(前年同四半期は817百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出586百万円、配当金の支出135百万円があったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の売上高は概ね計画どおりに推移いたしましたが、従来より継続して取り組んでいる「粗利改善策」効果により売上総利益率は計画を上回る状況で推移し、第2四半期累計期間につきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに予想を上回りました。

通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の2類から5類への移行後の消費者行動の変化が未知であり、またその反動による爆発的感染者急増による第9波到来の可能性もあること等、小売業界を取り巻く環境は依然不透明であることに加え、経費面では、賃上げによる人件費の高騰、電気料金の高止まりなどの影響も予想されることから、2022年10月24日に公表した通期業績予想を据え置くことといたします。

上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (2022年9月20日) | 当第2四半期会計期間 (2023年3月20日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,200 | 3,049 |
| 売掛金 | 1,841 | 3,021 |
| 商品 | 8,232 | 8,412 |
| その他 | 603 | 548 |
| 流動資産合計 | 16,877 | 15,032 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 9,236 | 8,882 |
| 土地 | 5,327 | 7,253 |
| その他(純額) | 4,036 | 4,373 |
| 有形固定資産合計 | 18,600 | 20,509 |
| 無形固定資産 | 1,532 | 1,507 |
| 投資その他の資産 | 3,281 | 3,028 |
| 固定資産合計 | 23,415 | 25,044 |
| 資産合計 | 40,292 | 40,077 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,312 | 5,963 |
| 電子記録債務 | 728 | 596 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 622 | 480 |
| 未払法人税等 | 412 | 200 |
| 賞与引当金 | 463 | 416 |
| その他 | 2,685 | 2,615 |
| 流動負債合計 | 11,225 | 10,273 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,683 | 6,240 |
| 退職給付引当金 | 1,757 | 536 |
| 資産除去債務 | 3,314 | 3,076 |
| その他 | 1,497 | 3,548 |
| 固定負債合計 | 13,253 | 13,401 |
| 負債合計 | 24,478 | 23,674 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,425 | 1,425 |
| 資本剰余金 | 1,585 | 1,585 |
| 利益剰余金 | 12,820 | 13,543 |
| 自己株式 | △0 | △135 |
| 株主資本合計 | 15,830 | 16,418 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △17 | △16 |
| 評価・換算差額等合計 | △17 | △16 |
| 純資産合計 | 15,813 | 16,402 |
| 負債純資産合計 | 40,292 | 40,077 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2021年9月21日 至 2022年3月20日) | 当第2四半期累計期間 (自 2022年9月21日 至 2023年3月20日) |
|--------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 売上高 | 46,737 | 47,022 |
| 売上原価 | 36,501 | 36,491 |
| 売上総利益 | 10,235 | 10,530 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,561 | 9,901 |
| 営業利益 | 674 | 628 |
| 営業外収益 | | |
| 受取手数料 | 69 | 70 |
| 助成金収入 | 23 | 25 |
| 支援金収入 | — | 82 |
| その他 | 48 | 34 |
| 営業外収益合計 | 142 | 212 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 48 | 36 |
| その他 | 32 | 15 |
| 営業外費用合計 | 80 | 51 |
| 経常利益 | 735 | 789 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 155 | 121 |
| 資産除去債務戻入益 | — | 37 |
| 退職給付制度移行益 | — | 177 |
| 特別利益合計 | 155 | 336 |
| 税引前四半期純利益 | 891 | 1,126 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 245 | 138 |
| 法人税等調整額 | 42 | 129 |
| 法人税等合計 | 288 | 267 |
| 四半期純利益 | 603 | 858 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2021年9月21日 至 2022年3月20日) | 当第2四半期累計期間 (自 2022年9月21日 至 2023年3月20日) |
|-------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 891 | 1,126 |
| 減価償却費 | 728 | 757 |
| 長期前払費用償却額 | 2 | 2 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △34 | △46 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 63 | △1,221 |
| 補助金収入 | △155 | △121 |
| 退職給付制度移行益 | — | △177 |
| 資産除去債務戻入益 | — | △37 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1 | △1 |
| 支払利息 | 48 | 36 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 40 | △1,179 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △474 | △179 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △265 | △481 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 78 | 29 |
| その他 | 62 | 883 |
| 小計 | 983 | △610 |
| 利息及び配当金の受取額 | 0 | 0 |
| 利息の支払額 | △47 | △35 |
| 法人税等の支払額 | △228 | △341 |
| 補助金の受取額 | — | 51 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 707 | △936 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △300 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,261 | △962 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 20 | 20 |
| その他 | △62 | △185 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,602 | △1,127 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △429 | △586 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △135 |
| 配当金の支払額 | △127 | △135 |
| その他 | △260 | △228 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △817 | △1,086 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,712 | △3,150 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,781 | 6,200 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,069 | 3,049 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。